

マリンワールド海の中道取材に関するお知らせ

人工哺育で育てた ラッコのマナが死亡しました

2021年2月22日17時49分、ラッコのマナが死亡しました。マナは妊娠していましたが、子宮破裂を起こしており手術を行いました。残念ながら死亡しました。

マナは2012年に当館で誕生し、体調悪化のため生後10日で母親から離して人工哺育に切り替え、人の手で育てられました。国内でのラッコの人工哺育の例は少なく試行錯誤の連続で、係員一同の懸命な世話により、飼育下4世のラッコとして初めて生育した個体でした。同居していたオスのリロとの仲は良かったのですがなかなか繁殖に至らず、日長や気温などの環境に変化を加えることで繁殖の促進に取り組んできました。今年に入り妊娠の兆候が見られていたところ、2月17日からエサを食べなくなるなど体調が悪化したため、22日に手術を行いました。子宮破裂を起こしており死亡しました。

マナは人工哺育の時から多くの方に愛され、ラッコの魅力を伝えることに貢献してきた個体で、このような結果となり残念でなりません。

【マナ】

- ◆ 生年月日 2012年1月25日
- ◆ 死亡日 2021年2月22日17時49分
- ◆ 死亡年齢 9歳
- ◆ 死因 子宮破裂
- ◆ 献花台 2021年3月31日まで設置



【お問い合わせ】

〒811-0321 福岡市東区西戸崎 18-28
マリンワールド海の中道
TEL 092-603-0400
FAX 092-603-2261
営業部：岩田、藤丸、大西、牧
E-mail : info@marine-world.co.jp
<http://www.marine-world.jp>